



ラーニングcommons(学生がともに学ぶ共有のスペース)

2012年度聖句

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。
 どんなことにも感謝しなさい。

(テサロニケの信徒への手紙1第5章16～18節)

— 目次 — CONTENTS

2013年度 和泉短期大学、同専攻科の事業計画 2

特集 社会人入学者座談会「私たちA30! 和泉で生き生きと学んでいます!」 3

izumi TOPIC ●学校法人名の変更 5

●文部科学省補助金事業に選定 5

●母校で結婚式を 5

izumi ニュース Vol.16

和泉短期大学 広報渉外ユニット

発行責任者 理事長 深町 正信

〒252-5222 神奈川県相模原市中央区青葉2-2-1

TEL.042-754-1133 (代表)

URL.http://www.izumi-c.ac.jp

2013年度 和泉短期大学、 同専攻科の事業計画



和泉短期大学
理事長 深町 正信

出し、少しでも収入を得るために一層努めていきたいと考えている。

今年度の事業計画としては、206教室の改修を8月中に実施し、教授会を含む諸会議を行う部屋をよりよく整備し、外来者との対応のために会議室を設置する予定である。音楽教室の充実のためには、新たに、EML特別教室（電子オルガン26台・音響設備）を2013年の9月までに設置し、10月から使用を可能にする予定である。このために、現在、短期大学の関係者からの応分の寄付金を募集しているが、その寄付の額の大小でなく、一人でも多くの方々からの協力を心から願うものである。

これまで創立以来ずっと、「学校法人クラーク学園和泉短期大学」が本学の正式な公称であったが、今後は創立者のクラーク博士の精神を大事にしつつ、「学校法人和泉短期大学」と称することが正式に受理され、文部科学省の認可を得たことをここに記しておくたい。

長い間の懸案であった5号館（旧和泉福祉専門学校）の建物と土地は現在、有力な買い手ができてきているので、両者の思惑が合致すれば、正式に売買契約が成立するものと思われる。これを資金の一部として、現在の和泉短期大学の校地の周辺の土地を買入れて、和泉短期大学の校地を出来るだけ現地に集約したいと考えている。

顧みて、1992年には、短期大学を含む4年制大学は523校であったが、2002年には686校、そして、2012年になると783校になった。このような状況の中で、今後は一層大学に於ける教育の質が問われることになると思われるが、それを真摯に受け止め、本学としても大事な課題として取り組んでいきたいと願っている。今年度は特に、和泉短期大学専攻科の課題と充実を緊急の課題として取り組んでいきたいと願っている。

結びに、現代の日本の教育現場を見る時、宗教心が全く欠如しているように思われる。すなわち、見えないものを畏敬する心、他人を思いやる優しい心、また、道徳心が失われていることをひしひしと感じる。オックスフォード大学の教育目標は「悪を悪として見抜ける目をもつ人を育てる」と書かれていた。幸い、和泉短期大学は建学の精神としてキリスト教信仰に基づく「愛と奉仕」の人間形成をスクール・モットーとして掲げている。したがって、和泉短期大学は本年度も1、建学の精神の堅持とその具体化、2、単年度の経営の健全化、3、教育と研究の一層の充実、4、積極的に外部評価を受けて一層の経営改善を計るを基本としているが、この基本に立って、今年度も変わることなく学校法人のより良い運営、経営に努めていきたいと願っている。

社会人入学者座談会

「私たちA30! 和泉でいきいきと学んでいます!」

2012年12月14日(金) 16時28分～17時58分 キャリアデザインセンター
大石 さち子(30歳)、市成 翔子(27歳)、半田 理恵(27歳)、利田 未樹(28歳)
座談会コーディネート:松浦 浩樹 准教授

写真左から松浦先生、大石さん▶
市成さん、半田さん、利田さん



色々な用事を抱えながら学内を行き来していると、学生ホール・コミュニティセンター、キャリアデザインセンター、図書館など、その時々のお気候(気温)や雰囲気に応じて、まるでジプシーのように自習できる学習空間を求めて、寸暇を惜しむように学んでいる学生とよく出会う。上記のA30(アラウンド30歳)の4名である。時には、その学ぶ勢いに巻き込まれるようにして、A20(アラウンド20歳)の学生も混じっていることも。私はこの姿に大いに共感し、また関心をもって見守ってきた。そこでこの度、「izumiNEWSの特集に!」との機会を得て、座談会をもつことになった。私からは①現在の年齢になってから保育の学びを始めようと思ったきっかけ。②若い人(A20)と一緒にいい点、逆に苦労する点。③社会人経験者が保育を学ぶことの意味 ④子育てをしながら学ぶ苦労。これらの四点を主題にしながら座談を開始したところ、時間が足りないほどの様々な話が飛び出してきた。まずは①について、まさに子育てしながら学んでいるママさん学生のお二人から尋ねてみた。

介護福祉士を取得し、施設で介護の仕事をしていた半田さん。結婚した相手の実家が保育園を営んでおり、結婚後に資格を取って保育園を継いでほしいと要請された。自分の中には介護を続けたいという思いがあったが、自分の子どもが生まれて、子育てをしていく内に思いが変わったという。自分の為にも子どもの為にもなると思って急遽、社会人特別選抜を受験して入学した。自分の子どもを預けていた保育園のやり方に疑問があって、自分で変えていきたいと思って決心したと述べる。

一方テレビ映画の製作現場で仕事をしていた大石さん。時間が不規則で拘束時間が長く、結婚したら続けられない仕事なので、結婚退職。実家は群馬県で結婚して相模原に転居。知らない土地での子育てに苦労して育児不安になった。ずっと子どもと二人だけにいることに息苦しさを感じて、パートの仕事を始めた。自分の子どもを預けた保育園で出会った保育士さんが素晴らしい方でどん底にいた自分を救ってくれ、励まされた。子どもの見方も教えてもらったり、その時に苦しみ悩むお母さんを救う保育士の仕事は、単に子ども好きではできない奥の深い仕事だと知り、保育士の仕事をやってみようと思い和泉に入ったのだそうだ。

私はママさん学生が、我が子の存在を通じて「保育職」に出会っていくことに興味を持つ。人生の様々な局面で進路変更を迫られる時、「一人」ではなく、人の存在によって「決意や覚悟」が与えられる不思議さ、恵みに気付かされる。また大石さんのような映画そのものは華やかでありながら、それを製作する現場の仕事は、どこか保育と共通するものがあるのではないかと、映画は役者のためにスタッフが緑の下で力持ちとなり、ありとあらゆる地道な仕事に携わる。保育は子どもが生き活きた希望をもって一日を送ることができるよう、保育者はありとあらゆる準備を整え、対応する。大石さんにさらに尋ねてみた。「映画製作の世界は華やかに見られがちだが実際はそうでもない。服は汚れるし、爪も汚れる、お風呂には入れないし、車の中で寝泊まりすることが多く、家に帰れないという泥臭い仕事。華やかな世界を支えるという点では保育の仕事と似ている。製作現場でやっていたことを保育の現場で生かせる。人前での意見発表とか様々な人とコミュニケーションを図る事とか。(略)製作現場の環境によって役者さんの思いが変わる。例えば飲み物の準備や弁当の中身などによって空気が変わってしまう。保育現場でも同じような配慮性が大切なので自分がやってきたことは無駄ではないと感じている」と大石さんは語ってくれた。

次に建設機械レンタル会社で4年間働いていた利田さんに尋ねてみた。彼女は「仕事はとてもハードだった。1つの営業所に女性社員は1名のみで、笑顔と大声と元気を出すしがなく、女性らしさを求められない。最初は総務の仕事だったが、通勤に1時間以上かかる営業所に転勤になり、そこでは事務長として一人で仕事を抱え込むことになった。体がきつくて女性としては厳しい職場だったが、後任が育つまではやめられなかった。退職後に派遣の仕事をしていたが、自分でできる仕事は何かと考えた時

に、自分は子ども好きだったことに気づき、保育の道を選んだ。和泉を選んだ理由は、オープンキャンパスに参加した時に、雰囲気やアットホームで、先生と学生がまるで高校生のように接するのを見て大学らしくないと感じたから!だと語ってくれた。

私が、その男性の感性が色濃く表れている職業から、若い「女の子」の世界に急転換して違和感がないか尋ねると、彼女は「女性は群れを作る生き物だが、私はそれが苦手。でも女性の群れの中で生きることを選びたいと思って敢えてキャピキャピの女性の多い保育の世界に入った」とも語る。

一方日本工学院八王子専門学校演劇声優科を卒業してから劇団養成所に入って勉強していた市成さん。「アルバイトをしないと生活できないため飲食店で1年間働いてい後、書店で6年間働いた。仕事は社員と同じことをやっていた。その後様々な人との出会いと別れを経験し、自分の人生を考え直した。資格は何も持っていない、運転免許すらない。愛想がいいし、よくしゃべれるが就職には結びつかない。結局、自分は何もできないことに気付いた。丁度その頃、アルバイト先の30歳の先輩が子どもを産んだ。とても可愛かった。保育所が満員で入れないという話を身近な人に聞いたのが大きかった。自分が保育士になれば他人の助けになるのではないかと思った。1月になって両親に土下座をして保育の学校に行かせてもらいたいと懇願した。両親は理解してくれて背中を押してくれた。和泉が家から一番近かったので決めた」と語る。

利田さんも、市成さんも、女性としてこれからの人生を必死に熟慮した末に「保育」という職に出会っている。それぞれ自分に課しているものは違うが、4人も学びに向かう姿勢は真剣そのもの。寸暇を惜しんで、教科書を開き、ペンを走らせている姿に心打たれる。そのような彼女たちに、世代の違う学生と共にキャンパスライフを送る苦心について尋ねてみた。

社会を経験した上で、今の学生と向き合うと「失礼!」と思うことが日常的に起こるといふ。先生に相談できないことを相談されることも多いらしい。また、まだ社会の荒波を知らないA20の学生が、教員や事務の方に対して失礼・無礼な態度や言葉をしゃべる時、「ひやひや」したり、腹立たしさを感じることも多いと語る。実際に注意することも…。また、電気の点灯・消灯、窓の開閉、授業に必要なものなど、自分で学習環境を整えることができない(しようとしない)、課題の取り組みも他力本願で、「お姉さんとしては手間がかかる」らしい。

一方でA20の学生の中にいて良いことは?と尋ねると、その苦心と表裏一体で、「A20の学生はバワフル、元気」で、教員に注意されたり、彼女たちから注意されても「めげない・へこまない・あきらめない」屈託のないところからパワーをもらっていることなのだそうだ。様々な違和感を抱きつつも、そこが大人のA30学生たち、上手く折り合いを付けながらキャンパスライフを送っている。

最後に私が興味をもった「A20学生と一緒に自習」はどのような経過を辿って成立したのかを尋ねてみた。すると一人のA20学生に「一緒に勉強しよう」と誘ったら、たくさんA20学生が集まってきたのだそうだ。

教員からはどのような表現で伝えても、半ば強制としか受け止めない学生たちが、A30学生の「一緒にしない?」という誘いには、自主的に集まっている事実に希望を見た。「学ぶ」気持ちはあるのだと私は改めて考え直した。A30の彼女たちが指摘するA20学生の「学び・生活に対する他力本願」を、もうしばらく彼女たちの力もお借りしつつ、A20学生たちの「意欲」を目標めさせる何らかの工夫を見出したい。自主自学の精神を養い、福祉・教育職の就業力を身に付けていくには課題の多い現状に、私自身もまた真摯に向き合う必要を感じたひとときであった。

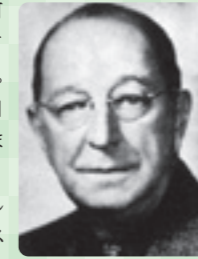
(文中、社会人入学者をA30と表記し、それに合わせて高校新卒の学生をA20として記述した。これは社会人入学者が「アラサー(Around30=30歳前後)」と自称しており、そのことに倣って記述した)

学校法人名変更のお知らせ

学校法人クラーク学園は、学園寄附行為変更認可申請を文部科学省に行い、2012年12月7日付にて認可を受けました。法人登記は4月1日付で行います。2013年4月1日から学校法人名を「クラーク学園」から「和泉短期大学」に名称変更することにいたしました。

本法人は1965年1月に学校法人クラーク学園として認可されました。法人の名称は、米国財団クリスチャン・チルドレンズ・ファンド(CCF)創業者のJ.C.クラーク博士に由来し、設立後48年が経過しています。

今後も、クラーク学園の創立時からの建学の精神であるキリスト教信仰に基づく「愛と奉仕」の人間形成をスクールモットーとして、質の高い実力養成型保育者養成校として、教職員一同努力して参ります。



本学園創始者
カルピット・クラーク博士
(1887-1970)

文部科学省 補助金「平成24年度 産業界のニーズに対応した教育改革・充実体制整備事業」に選定されました

文部科学省の補助金事業である*「産業界のニーズに対応した教育改革・充実体制整備事業」に本学及び連携大学・短期大学による取組が選定されました。

取組名称 「関東山梨地域大学連携による産業界等のニーズに対応した教育改革」
連携校名

神奈川県 横浜国立大学 神奈川工科大学 北里大学 昭和音楽大学
和泉短期大学 昭和音楽大学短期大学部
東京都 電気通信大学(幹事校) 亜細亜大学 創価大学 東京経済大学
日本社会事業大学 武蔵野大学

山梨県 山梨英和大学
栃木県 宇都宮大学
以上 14大学・短期大学

本学は、2004年度、2009年度、2010年度に続いて4回目の選定となります。

※「産業界のニーズに対応した教育改革・充実体制整備事業」とは、産業界のニーズに対応した人材育成の取組を行う大学・短期大学が地域ごとにグループを形成して、地元の企業、経済団体、地域の団体や自治体等と産学協働のための連絡会議を設置して取組を実施することにより、社会的・職業的に自立し、産業界のニーズに対応した人材育成に向けた取組の充実を図る優れた大学グループの取組を国が支援するものです。

活躍する卒業生

PART IV

千葉大学教育学部 幼児教育教室(幼稚園教員養成課程)

教授 富田 久枝
(旧姓 田邊) 1974年卒業



私は、今年の5月で還暦を迎えます。和泉短期大学、児童福祉科で学んでから早いもので、40余年が過ぎました。私が通学していた頃の和泉短期大学は、世田谷の中町という場所にあり、小舎制の養護施設が併設されていて当時としては画期的な取り組みだったと記憶しています。入学試験の内容と面接試験のやり取りでは、確か、図画工作の実技試験があったような…面接は学長先生で志望動機を聞かれ、「学費が安い、授業内容が充実している、で志望した」と言った私を笑って受け止めて下さいました。和泉短期大学では心の豊かさとして人の優しさを学びました。卒業後、東京都内の私立幼稚園に就職し、翌年、市川市の公立幼稚園の公募に挑戦、市川市の職員として2年間働きました。その後、

結婚、出産のため、退職をし、その後、自宅近くの学校法人築葉根幼稚園に再就職し19年勤め、その傍ら日本女子大学を5年かけて卒業し、幼稚園教員1種免許状を取得しました。1994年に保育現場におけるカウンセリングの必要性を感じ、筑波大学の教育研究科に進み、修士論文をまとめ、さらに退職をして筑波大学の博士課程の研究生として博士論文をまとめ2004年に念願の心理学(博士)の学位を取得しました。2011年から千葉大学の教育学部において、幼稚園教員の養成をしています。千葉大学の公募の面接を受けた時、和泉短期大学で発達心理学を教えた下だった稲垣佳世子先生が御退官のための面接で、40年ぶりに再会をしました。社会人としての第一歩が和泉短期大学から始まり、教員として最後の仕事をやる場所で和泉短期大学とのご縁で幼稚園教員養成者として終えるという不思議な縁を感じています。この出会いが無ければ今の私は無かったでしょう。ありがとうございます。今後は、和泉短期大学で学んだことを誇りに素敵な保育者を育てたいと思っています。

和泉奨学金の返済を終えて

私は1年生の秋頃、家庭の事情で学費の支払いが厳しくなりました。真っ先に浮かんだのは「退学」という言葉でした。しかし先生が「諦めるな、応援しているから」と奨学金を薦めて下さり、学業を続けようと思えることができました。そして2年間、和泉短期大学で素敵な仲間と共に児童福祉を学ぶことができ、その結果、ずっと抱いていた夢を叶えました。今でもこの選択をして良かったと感謝しています。

卒業後は、児童養護施設に勤めています。給与が入ると、奨学金の返済口座に感謝の気持ちを込めて振り込みました。時々、先生が様子伺いの電話を下され、無理なく返済し終わりました。奨学金は私にとって、ただのお金ではなく多くの人の支えや願いが込められたものでした。

そして今、私の勤める施設に入所している子ども達も、奨学金があることで夢を追い続けようとしています。子ども達と一緒に夢を見れることを心から嬉しく思う日々です。

しろがね 銀 みさと(2011年3月卒業)



2012年度入学前教育を受講して(2013年度入学者)

中村 真弓(神奈川県立弥栄高等学校)



私は、入学前教育を受講して本当に良かったと思います。

入学する前に、これから一緒に学んでいく仲間達や、先生方との良い交流の機会になりました。また、月一回の授業だった事で、次回までに教わった事を活かしながら準備ができたので、リラックスして授業に臨むことができました。

先生のお話を聞いて、高校とは違う授業の展開の速さを実感できました。卒業生から学校生活や実習のお話、現在勤務されている幼稚園のことを聞いて、実習では「自分から踏み込んで、積極的に関わる姿勢」が大事だということを学べたのは私にとって大きかったです。

2年間という限られた時間の中で学ぶことは多く、大変だと思いますが、春から始まる和泉短期大学での学生生活が楽しみです。

深見 絵里奈(神奈川県立上溝南高等学校)



入学前教育を受ける前は、不安だけでした。しかし、今は友達も徐々にでき、周りのみんなも同じように不安を抱えていると分かり、少し安心しています。

2回目の入学前教育では、卒業生のお話を聞かせて頂きました。実習や就職先で体験した話を聞いて、自分も保育士になるという実感が湧きました。また、ただ注意するのではなく、理由も言うのと良いと教えて頂きました。

私は、「はっぴい」にも参加させて頂きました。「おててを洗おう」と言っても嫌がっていた子に、「おてて洗わないとおやつ食べられないよ」と言うと、自分から洗いに行ってくれました。他にも、先輩から教えて頂いたり、自分で気付いたりすることも多く、半日でたくさんを学ぶことができました。入学してからも、「はっぴい」などには積極的に参加したいと思っています。

入学前教育で保育に対する意欲が増したので、ピアノや勉強などを頑張ります。

読売ジャイアンツ元コーチ篠塚和典さんより 本学に対して、寄付金をいただきました

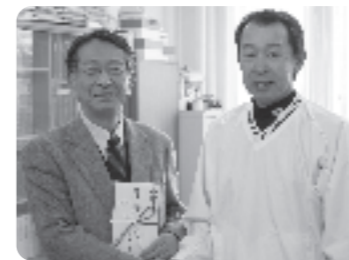
2013年1月20日(日)に本学体育館で篠塚和典さんが町田市にある児童養護施設パット博士記念ホームの子どもたちのために野球教室を行っていただきました。

その際、学長室において、篠塚さんから、本学伊藤忠彦学長に寄付金を戴きました。

この寄付金は、篠塚さんが代表となり、2012年11月28日(水)に開催された「第8回スマイリングパートナーズチャリティーゴルフ」時のチャリティーオークションの売り上げのなかから頂いたもので、参加者の方々の心のこもった寄付金です。

オークションの売り上げは、フィリピン、ネパール、スリランカの子どもたちの教育支援、パット博士記念ホームの子どもたちの支援、東日本大震災被災者支援などを目的に寄付されています。

貴重な寄付金を本学の「教育環境充実資金」として使用させていただきます。



「国際ソロプチミスト相模」から 和泉短期大学に助成金の贈呈式がありました

2013年2月21日(木) 相模原市民会館 2階第2会議室にて、『国際ソロプチミスト相模』(会長 新野道子氏)から和泉短期大学の教育活動、ハンドベル活動に対し助成金の贈呈式がありました。

国際ソロプチミスト相模から本学に対しての助成金は、2005年度から始まり本年度で8回目となります。

本学の教育活動、ハンドベル活動に有効に活用させていただきます。



2012年度『教育環境充実資金』募金 (電子音楽教育システムの設置〈EML〉)

—是非ともみなさまのご協力をお願い致します—

学生の音楽環境を一層充実させるために、2013年度に、電子音楽教育システム導入により、EML特別教室(電子オルガン26台、音響設備)を設置する計画をしております。

多くのみなさまにご賛同をいただいておりますが、一層のご理解をいただきたくお願い申し上げます。

●ご寄付者数 104件107名(団体含む)〈2012年4月1日～2013年2月28日〉

●寄付金額 3,253,000円

●募金対象事業 電子音楽教育システム(EML)の導入
震災・災害対策他

●募金目標額 10,000,000円

●期間 2012年4月～2013年3月

●寄付金 1口5,000円

ご寄付いただきました方につきまして、感謝をもってご報告いたします。

なお、当局が受理いたしました日付けで処理いたしておりますので、多少のずれが生じている方もあるかと存じますが何卒ご了承をお願いいたします。

法人事務局



▲電子音楽教育システム (EML)

ご報告

izumi NEWS Vol.14にて、教育環境充実資金募金(創立50周年記念事業募金)の募金総額をお知らせいたしました。その後2件の募金があり「30,924,111円」となりました。ここに感謝の意を表し、ご報告させていただきます。

法人事務局

寄付者一覧(2012年12月1日～2013年2月28日)

和泉短期大学父母会	鈴木 正栄
伊藤 忠彦	スマイリングパートナーズ
潮田 健治	チャリティゴルフ大会実行委員会(代表 篠塚 和典)
大塚 真光子	相和会産業健診センター
国際ソロプチニスト相模	牧 美保子
斉藤 匡	宮本 和武
佐藤 公啓	横川 剛毅
杉山 佳子	

現物寄付金

オープンレンジ(栄養実習室に設置) 第一工業株式会社

和泉短期大学 第4回夏期リカレント講座(2013年度) 2013年7月30日(火)【講演とワークショップ】

午前の部 10:00～12:00(全体会・講演会)

講演 「特別な支援を要する子どもへの関わり」(仮題)

講師: 神奈川県立相模原中央支援学校 教諭

午後の部 13:00～15:00(分科会・ワークショップ)

1 社会福祉法人の将来像を考える

鈴木 敏彦 教授

2 気になる子どもの保育

河合 高鋭 専任講師

3 知的障がいのある人への虐待防止と安定した関係づくり

横川 剛毅 准教授

4 保育者がぜひ知っておきたい子どもの保健

戸塚 恵子 准教授

受付期間 2013年5月1日(水)～7月16日(火)

申込書(所定用紙)をFAXまたは郵送してください。

問合せ先 和泉短期大学 教育・学習支援ユニット

042-754-1133

和泉短期大学 第11回 2013年度 介護技術講習会のごあんない

日程	1日目	6月22日(土)	9:00～19:00
	2日目	6月23日(日)	9:00～18:00
	3日目	6月29日(土)	9:00～18:00
	4日目	6月30日(日)	9:00～17:00

会場 和泉短期大学 ※駐車場有

JR横浜線「淵野辺駅」よりバス10分 または
小田急線「相模大野駅」よりバス20分

申込受付期間 2013年4月1日(月)から5月20日(月)まで

※この期間内に本学に到着したハガキのみを対象にします。先着40名。

申込方法

①往復ハガキでお申し込みください。
それ以外は受け付けません。

②期間内に本学に到着したハガキのみを対象にします。期間前に到着したのも無効とします。

問合せ先 和泉短期大学 広報渉外ユニット

042-754-1133